

アジアの 民主化を 促進する



東京大集会

ASIAN
democracy

TOKYO

11.26 asiandemocracy.jp
アジアノ民主化促進。
TOKYO駒沢体育館

2011, at Komazama Gymnasium, Tokyo.



アジア・リンポチェ

2歳の時、ツォンカバ(13世紀チベット仏教の改革者)の父の転生と認定。文化大革命で弾圧を受け強制労働収容所に10年前後服役するも、その後クンブ僧院の館長、佛教会会長、中国仏教連盟の会長など歴任。政情変化で1998年アメリカに亡命。2005年、ダライ・ラマ法王から米国チベット・モンゴル佛教文化センターを任せられ現在に至る。



チベット文化研究所名誉所長

ペマ・ギャルポ

チベット・カム地方生まれ。1965年、来日。1980年、ダライ・ラマ法王アジア・太平洋地区担当初代代表。1997年、拓殖大学海外事情研究所客員教授。2001年、チベット仏教ニコマ派総宗門顧問。桐蔭横浜大学大学院教授、チベット文化研究所名誉所長。



世界ウイグル会議 EU 議会特別全権代表

メメト トフティ (Memmet Tohti)

新疆大学在学時の1985年、有名なウイグル学生抗議集会組織に参加。1992年中国から、ヨーロッパへ亡命。カナダ・ウイグル協会会長、世界ウイグル青年議会議長、世界ウイグル会議副議長などを歴任し、現在は世界ウイグル会議 EU 議会特別全権代表。



在日ビルマ市民労働組合会長

ティンウィン

1988年アウン・サン・スー・チーさんと共に民主化運動に参加、憲法起草運動に係る。その後、軍事政権の投獄、拷問を受け、1996年来日、難民認定を受ける。

主な参加者

(海外・民族代表)

ASIAN DEMOCRACY



中国民主党代表

徐文立 (ジョー ブンリツ・Xu Wenli)

政治家。1943年生まれ。鄧小平時代に政治組織を結成、投獄される。1993年、アメリカ政府と中国との最恵国待遇更新の交渉条件として釈放されるが、政党作りに関わり、再び収監される。中国民主党は中国国内各省に7,000名の黨員を持つ。2002年アメリカへ亡命。



黄文雄

台湾、高雄県に生まれ1964年来日。早稲田大学卒。米国の華人向け新聞で連載、後に戒厳令下の台湾で地下出版された『中国之没落』は反体制の必読書となった。台湾を近代化に導いた日本を高く評価し、現在も日・台を軸に評論を展開。拓殖大学日本文化研究所客員教授。



ベトナム革新党主席

リー タイフン

ベトナム戦争中に日本へ留学、建築学専攻、愛媛大学卒業、都立大学大学院修士課程修了。橋梁会社勤務を経て、ベトナム難民支援活動に従事、ベトナム民主化に専念するため渡米。1999年、ベルリンでの「ベトナム革新党」創立に参加。組織部長を経て、現在は主席。



カチン民族機構人権・難民問題担当

日本事務局長 マリッパ・センブー

大学在学中にカチン族の自治、独立問題に本格的に取り組み始め、1988年にヤンゴン市内で組織された大規模デモにも参加。その際に身の危険を感じビルマを出国、1992年来日。人権 NGO 「ビルマ市民フォーラム (PFB)」 運営委員 「アジア太平洋難民権利ネットワーク (AORPN)」 運営委員 ほか多数